



まちの未来計画を策定しました

(第6次総合計画)

「まちの未来計画」とは

まちの未来計画（第6次総合計画）は、私たちが暮らす岡垣町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかをまとめた、町の最上位計画です。

この計画は、住民の代表で構成された審議会からの意見を踏まえて策定したものです。計画期間は令和3年度～令和12年度。今後10年間のまちづくりの方針や目標を示しています。

2021

(令和3年度)

2030

(令和12年度)

計画期間は10年間

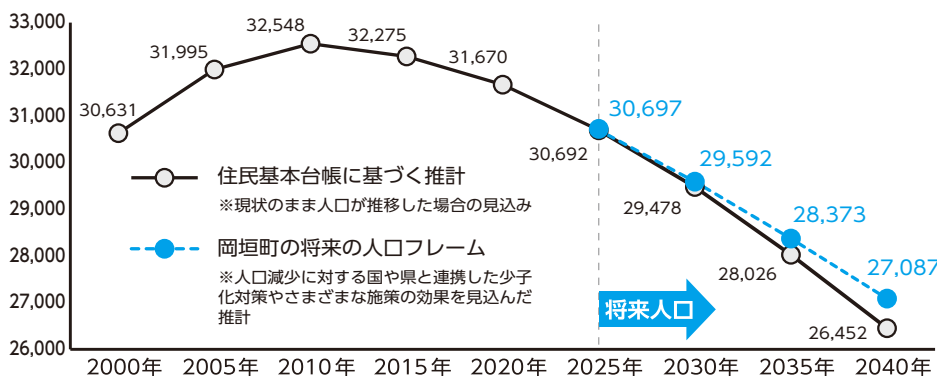
人口減少を見据えた「持続可能なまちづくり」

町の人口は2010年11月に約3万2700人でピークを迎え、その後は減少が進んでいます。2040年には約2万6千人にまで減少する見込みとなっています(図1)。

人口減少や高齢化がさらに進むことで医療や年金、介護といった社会保障制度に大きな影響が出てくるほか、地域活動の担い手が不足することで、これまで行われてきた地域活動が衰退してしまう恐れがあります。

こうした背景を踏まえ策定した、「まちの未来計画」。この計画に基づいたさまざまな施策の実行により、人口減少社会に対応した持続可能なまちを形成することで、住民の皆さんが住みやすいと感じるまちを目指します。

図1 岡垣町の将来の人口推計と将来人口フレーム



(各年3月末現在)

問い合わせ 企画政策室

まちの
将来像

「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」



「岡垣らしい しあわせ」を
感じられるまちを目指します

岡垣町は海や山などの美しい自然環境に恵まれ、それらの自然がもたらすおいしい水や食の恵み、子育て環境、住民のふれあいがある暮らしは、「岡垣らしい しあわせ」といえます。これは、住民が住みやすいと感じる町の魅力となっていて、町への愛着の形成にもつながっています。

まちの未来計画では、人口減少社会への転換が求められる中でも、将来にわたって「岡垣らしい しあわせ」を守り育て、住民一人一人が幸せを実感できる町を目指します。

■5つの基本目標のイメージ



基本目標

将来像を実現するための
5つの基本目標

まちの未来計画では、まちの将来像「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」を実現するため、5つの基本目標を掲げています。

← 5つの基本目標は、分野ごとに目標がさらに細かく分かれて
ています。詳しい内容は4～5ページを見てください。

基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち

まちづくり
1

豊かな自然を守り、育てる

住民や団体、企業との交流・連携により、まちの魅力である豊かな自然を守る活動を広げていきます。

まちづくり
2

おいしい水、きれいなまちを守る

おいしい地下水を守るとともに、ごみの減量化や生活環境の保全活動を促進します。

まちづくり
3

地域から地球温暖化を防止する

省エネ対策や再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化対策に取り組みます。



— 主な取り組み —

- 三里松原と美しい海岸の保全
- おいしい水の安定供給・PR など

基本目標2 地域資源を活かし発展するまち



— 主な取り組み —

- 農業・漁業の生産基盤の維持管理・活用
- 自然などの地域資源を活かした体験型観光の開発 など

まちづくり
4

農業・漁業を守り、育てる

さまざまな農水産物を安定して供給するため、生産基盤の維持や経営者への支援、後継者の育成に取り組みます。

まちづくり
5

商工業を支援し、地域経済を活性化する

地域の雇用を支える商工業の経営支援を行うとともに、新たな企業の誘致や起業・創業の支援などに取り組みます。

まちづくり
6

地域資源を活かした観光を推進する

自然や食などの地域資源を活かした観光交流を拡大するとともに、町の魅力を効果的に情報発信します。

基本目標3 人・つながりが育つまち

まちづくり
7

安心して子育てができるまちをつくる

安心して子どもを産み、育てられるように、妊娠から出産、育児まで切れ目のない子育て支援や保育環境の充実を図ります。

まちづくり
8

未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

子どもが社会で生き抜く力と、ふるさとへの愛着を育む学校教育を推進します。

まちづくり
9

住民がともに学び、ふれあうまちをつくる

文化活動やスポーツなどの生涯学習の推進、住民交流を促進し、まちづくりの輪を広げます。

— 主な取り組み —

- 子育て地域包括支援センターなどを中心とした総合的な子育て支援、保育環境の充実
- 英語教育やICTを活用した教育の推進 など

基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

まちづくり 10 住民が健康で暮らせるまちをつくる

住民の健康管理・健康増進の意識を高め、地域での健康づくり活動に参加しやすいよう、健康づくりの輪を広げます。

まちづくり 11 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

「お互いさま」の心で支え合うネットワークの充実、高齢者や障害のある人への福祉環境の充実を図り、誰もが地域のさまざまな場面で活躍し、働きがいや生きがい生まれる機会を提供します。

まちづくり 12 互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる

住民同士が互いの人権を尊重し、ともに認め合い個性が発揮できるまちづくりを推進します。



— 主な取り組み —

- 特定健診の勧奨など住民の健康意識を高める取り組み
- 地域福祉活動を支えるボランティアなどの人材育成 など

基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち

まちづくり 13 成熟した都市の再生を推進する

持続可能なまちづくりを推進するため、駅周辺の活性化、便利な公共交通の整備を進めます。

まちづくり 14 安全で便利な都市基盤をつくる

定住促進や企業進出を見据えた道路ネットワークの整備などにより、都市の利便性の向上を図ります。

まちづくり 15 災害から住民を守る

大規模な自然災害に備え、災害に強い基盤づくりを推進するとともに、自助・共助による防災活動を促進します。

まちづくり 16 犯罪・事故から住民を守る

環境整備や地域の防犯活動を支援するなど、地域の犯罪を抑止する取り組みを促進します。

— 主な取り組み —

- 住民のニーズに対応した新しい公共交通体系の構築
- JR 海老津駅周辺を快適に利用できる環境整備
- 河川改修など、災害に強いインフラの整備
- 各自治区における自主防災組織の活性化 など

まちの未来計画の詳しい内容は町公式ホームページで確認できるほか、次の場所にも設置しています。

【設置場所】

- 役場本館1階ロビー
- 岡垣サンリーアイ図書館
- 情報プラザ人の駅
- 中央・東部・西部公民館 など



▲町公式ホームページはコチラ

計画の詳しい内容を確認できます

計画推進の基盤

まちづくり 17 住民とともにまちづくり活動を広げる

地域コミュニティ活動を促進するとともに、自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します。

まちづくり 18 社会変化に対応した行財政運営を推進する

社会変化に対応し、将来を見据えた行財政運営を推進するとともに、町の魅力を発信し、定住・交流関係人口などの増加を図ります。



令和3年度 施政方針・ 当初予算

3月定例議会にて、門司町長が令和3年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。6ページ～11ページでは、その概要と令和3年度予算を紹介いたします。

問い合わせ 総務課

進む少子高齢化と「持続可能なまちづくり」

2ページ～5ページで紹介した「まちの未来計画」の策定の背景にもあるとおり、日本では、少子高齢化と人口の減少が急速に進んでいます。岡垣町も同様の傾向にあります。この状況が続くと、医療や年金、介護を中心とした、現行の社会保障制度に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

人口減少・少子高齢化は国難ともいうべき日本全体の課題であり、国が骨格となる政策を示し、地方自治体と協力して対応することが重要です。しかし、短期間で人口減少を食い止めることは難しいものです。したがって、このような状況の中でも「持続できる社会」をつくっていくことが、これからのまちづくりに求められています。

まちの将来像と「8つの目標」の実現に向けて

令和3年度は、まちの未来計画の最初の年にあたります。この計画に掲げるまちの将来像と、今後の町政運営にあたっての「持続可能なまちづくり」をキーワードとする「8つの目標」の実現に向けたまちづくりを進めます。

また、「持続可能なまちづくり」を進めるためには、健全な財政運



営が欠かせません。新型コロナウイルス感染症が与える財政運営への影響を注視しながら、将来を見据えた長期的な視点で、財政健全化に継続して取り組みます。
 次のページからは、令和3年度の予算の概要を8つの目標に沿って説明します。

“持続可能”な まちづくりに向けて——。

一般会計予算は102億100万円

歳入

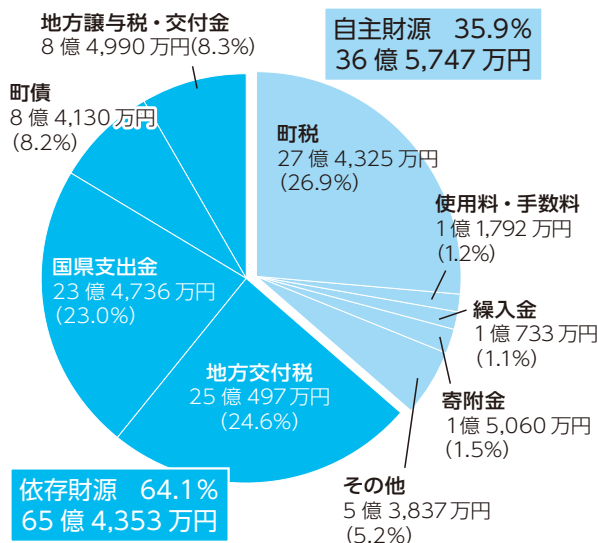
【主な前年度からの増減】

町税 町民税や固定資産税などの減少を見込み、1億6,446万円(5.7%)減少。

国県支出金 児童や障害者福祉をはじめとする社会保障費などの増加により、1億1,831万円(5.3%)増加。

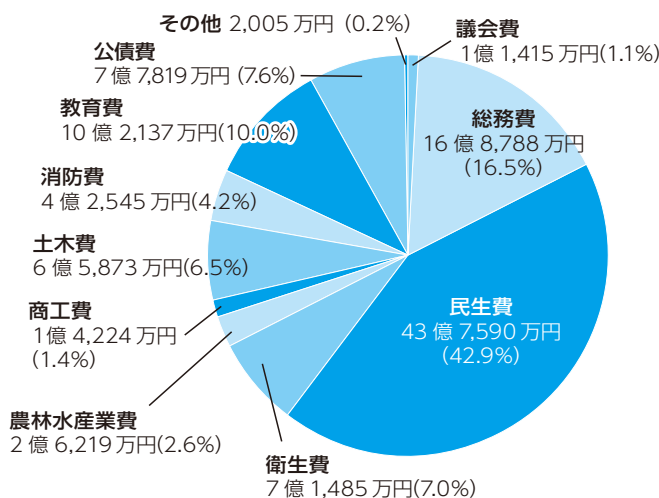
寄附金 寄附の増加を見込み、7,000万円(86.8%)増加。

繰入金・町債 基金からの繰り入れは2億7,658万円(72.0%)減少、町債は2億80万円(31.4%)増加。



前年度予算から6,300万円(0.6%)の増加

歳出



【主な前年度からの増減】

総務費 おかがき応援寄附基金積立金の増額などにより、6,535万円(4.0%)増加。

民生費 社会保障費の増加などにより、1億1,139万円(2.6%)増加。

消防費 緊急防災無線システム改修工事の完了などにより、7,557万円(15.1%)減少。

公債費 町債残高の増加により、償還金などが4,620万円(6.3%)増加。

その他の会計

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	31億2,450万円	収益的収入	5億9,093万円
		収益的支出	5億3,406万円
		資本的収入	1億5,677万円
		資本的支出	3億4,883万円
後期高齢者医療	6億795万円	収益的収入	8億8,779万円
		収益的支出	8億5,991万円
		資本的収入	6億3,507万円
		資本的支出	9億3万円

安全安心な暮らしを守る

1



大規模な風水害や地震などに備えた防災体制の強化のほか、防犯対策の推進により、皆さんが安心して安全に生活できる環境を整えます。

- 河川等監視システムの整備 ——— 546 万円
- 防犯灯のLED 化など ——— 1,359 万円
- 防犯カメラの設置補助や青パトなどの防犯対策 — 247 万円
- 吉木・海老津線の歩道拡幅 ——— 5,000 万円など

持続可能なまちづくりの「8つの目標」

令和3年度の主な取り組みを紹介



都市の基盤

将来に向けた
をつくる

3

将来の都市計画と土地利用のあり方を定める「第2次都市計画マスタープラン」を策定するとともに、商業・医療・福祉施設などの都市機能と居住地域の緩やかな誘導に向けて、立地適正化計画の策定に取り組みます。

- 都市計画マスタープラン・立地適正化計画の策定 ——— 1,100 万円
- 海老津駅前周辺整備計画の再検討 ——— 400 万円
- 国道3号岡垣バイパス4車線化の早期完成に向けた取り組み ——— 159 万円
- 道路や橋などの環境整備 ——— 2 億 1,589 万円など

町の魅力を町内外に広く発信する

2



SNS をはじめとするさまざまな情報手段を効果的に活用した広報活動を展開し、町の魅力を幅広く発信します。

- 組織改編による情報発信力の強化 ——— 458 万円
- 広報紙の発行など ——— 664 万円
- PR グッズの作成など ——— 161 万円
- 定住促進事業の実施 ——— 3,420 万円など

子育て・ 教育環境 4 を充実させる

安心して子どもを産み育てられるように、保育環境の整備と子育て支援の充実を図ります。また、英語教育やICT教育を推進し、子どもたちが社会の変化に対応できる力を育てます。

■子ども医療費の支援	1億 2,288万円
■保育サービスの提供	6億 8,454万円
■学童保育所の運営	5,544万円
■こども未来館の運営	2,990万円
■英語教育の充実	1,647万円
■児童生徒の一人一台端末など、 ICT環境の整備	7,807万円 など



【新たに開始する子育て支援事業】

●障害児保育実施への補助	259万円
●母親への産後ケア事業	104万円
●保育所等施設での巡回相談	76万円

良好な 自然環境 6 を守る

町のシンボルである美しい海岸や森林を守るため、官民が連携した環境保全活動を推進します。

■松葉かきなどの 保全活動への支援	234万円
■森林環境譲与税などを 活用した森林整備	1,191万円
■環境啓発・人材育成事業	161万円 など



高齢者が地域社会の中で元気に活躍し、健康で生きがいを持って暮らせるよう、ライフステージにあわせた健康づくりを支援します。
公共交通に関しては、「第4次公共交通体系整備計画」を策定し、効率的で持続可能な交通ネットワークの確立を図ります。



健康づくりや 福祉活動 5 を充実させる

■高齢者福祉の増進	8,430万円
■障害福祉サービスの提供	9億 6,974万円
■介護保険事業	6億 7,799万円
■第4次公共交通体系整備計画の策定	701万円
■コミュニティバスの運行	6,094万円 など



8

協働のまちづくり

に取り組む

岡垣町のまちづくりを支える住民の皆さんの活動をサポートするために、自治区、校区コミュニティをはじめとする関係団体による各地域の特性に合った活動を支援します。また、生涯学習などを通じた地域活動の担い手となる人材の育成を進めます。



- コミュニティ活動への支援 ————— 1,027万円
- 岡垣サンリーアイの運営 ————— 2億 5,084万円
- 公民館講座の実施 ————— 221万円
- 自治公民館活動への支援 ————— 509万円
など

7

活力ある地域づくりを進める

農業・漁業・商工業など地場産業の経営を支援するとともに、観光協会や民間施設と連携しながら情報発信を強化し、観光客の増加や消費拡大に向けた取り組みを進めます。



- ため池、農業用水路などの施設の維持管理 ————— 7,142万円
- 漁港施設の利活用計画の策定 ————— 446万円
- 商工業の振興 ————— 6,312万円
- 観光の推進 ————— 3,639万円
など